

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 29年 3月 24日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3490100488		
法人名	株式会社 リアン		
事業所名	グループホーム でお		
所在地	広島市南区出汐1丁目4番16号 (電話) (082) 250-1620		
自己評価作成日	平成29年3月7日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2016_022_kani=true&JigyosyoCd=3490100488-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成29年3月22日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

1日1回は健康体操を行っております。同建物内に併設している小規模多機能ホームと事業所間で月に1度は、小規模多機能ホーム利用者と合同でレクリエーションを行い交流しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

比治山公園に近く、交通至便な街中に立地し、四階建ての二階、三階部分をグループホームとし、同建物内の小規模多機能型ホームとは合同の様々な催しを通じ交流を図っている。町内の夏祭りや亥の子祭りなど季節の行事にも参加し、地域との絆を深めながら「笑う門には福来たる」をスローガンに掲げ、利用者の穏やかな生活を育んでいる。開設五年目を迎えて、さらに安全な環境整備に努め、職員はお互いに同じ目線で一緒に作り上げていくスタンスを大切にしながら、利用者や家族の思いに寄り添い、親身になって明るく支援することを心がけ日々尽力している事業所である。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	ミーティング等を通して、職員との理念の共有を図っているが、全職員と共有・実践が徹底出来ていない。	施設理念を基に、年間目標として「個々のニーズを汲み取りケアに活かす」「笑顔を絶やさない」などを掲げ、職員間で共有している。月一回のミーティング時に振り返りを行い、日々の支援につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	日常的に交流はできていません。夏祭り・亥の子・子供神輿等、町内会行事に参加しています。	町内の夏祭りや亥の子祭りなど季節の行事に参加し、日常的に交流を図っている。系列の保育園からの定期的な訪問では、園児たちの手作りのプレゼントがあったり、世代を超えた和やかな交流も継続している。地域とのつながりを大切に、更に交流の輪を広めるよう努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	地域の方へ向けて支援方法等を伝えることまではできていませんが、運営推進会議で民生委員の方等に、認知症の方への支援方法等相談できることを伝え、体制は整えています。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	利用者の状況、事故報告、サービス内容を伝え、意見をもらうようにしています。意見をいただいた際は、施設で出来る限りサービス向上につなげるようにしています。	隔月開催の当会議は小規模多機能型事業所と合同で行い、利用者・家族・民生委員・地域包括支援センター職員などの参加を得て、活発な意見交換がなされている。行事などについても要望や意見を得て、運営に活かしている。参加しやすいテーマづくりや参加メンバーの幅を広げる工夫も検討している。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	運営していて疑問点が生じた時や、事故報告の連絡や、運営推進会議の案内の送付を行っています。	日頃から様々な相談や連絡などで、密に連携を図っている。運営推進会議への出席をはじめ、研修案内や申請・手続きなど協力関係を深めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>正しい理解にむけて、身体拘束を行わないケアを研修等を通じ、今後とも伝えていきます。防犯上の理由で玄関の施錠は行っています。</p>	<p>定期的な法人内研修はもとより、外部研修で得た情報も伝達研修し、職員間で身体拘束をしないケアの実践に努めている。ベッド柵など使用のケースには同意書を取り、適切に支援している。なるべく制約を加えない、見守りによるケアへの意識を高めている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>外部、内部研修に参加しています。利用者の言動を含めた状態観察、職員の介護の様子をみて必要に応じて助言を行い、虐待防止に努めています。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>管理者、介護支援専門員、一部の職員は理解していると思いますが、まだまだ活用は出来ていない事が多いと思います。これからも研修等に参加し、権利擁護について勉強し、活用できるようにしていきます。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約書、重要事項を用いて解りやすく説明するように心がけています。又、契約後も不明な点があれば、わかりやすく説明するようにしています。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者、家族からの意見を職員が受けた場合は、介護支援専門員に伝え対応し、運営に反映しています。利用者、家族にも随時、要望がないか確認しています。</p>	<p>主に面会時に意見・要望を伺い、電話やメール、手紙などで近況報告やコミュニケーションを図っている。運営推進会議でも率直な意見やアドバイスを得て、サービス向上に活かしている。健康維持のため、空気清浄機を導入して欲しいという家族からの要望に対して、迅速に対応したケースもある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>運営に対しての意見や提案は随時管理者に伝え、管理者より代表者等に伝え、必要に応じて対応しています。</p>	<p>フロアミーティングで話し合い、活発に意見交換をしている。発案された意見により、提供する食事を一部レトルト食に変えることで、職員がケアに費やす時間を増やす工夫など、より良い支援につなげた例がある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>職員の努力等を把握し、出来る範囲で職員の希望が叶えられるように努めています。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>市やその他団体の研修会を職員に情報提供し、参加出来る様に努めています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>他施設との情報交換を行っています。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>施設生活において、心配事や不安ごとを聴き、傾聴を中心とし、無理強いしないように支援し、信頼関係を築くようにしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>本人からより家族の方が要望をだされることが多いので、話をしっかり聴き、本人の意向も踏まえつつ支援を行い、できるだけ迅速に対応するようにし、関係づくりに努めています。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>問い合わせの時利用開始にあたって再度本人、家族にサービスについて確認しサービス提供をしています。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>本人中心の介護に成りがちではありますが、その都度毎に様子を伝えたりすることにより、家族との関係も築くようにしています。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>家族の要望を聞きすぎてしまう部分もあるのですが、本人の意向も家族に伝え、本人、家族共に納得し、サービスを受けてもらうようにしています。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>家族や知人等遠慮なく来所していただき、コミュニケーションを図ってもらっています。</p>	<p>家族ほかの面会も多く、昔なじみの近所の人の来訪もある。懐かしい関係性を大切にし、訪れやすい雰囲気づくりに努めている。今後は、家族や関係者などによる音楽ボランティアの受け入れも視野に入れている。</p>	<p>ボランティアの受け入れなど、外部関係者とのつながりや、馴染みの関係性を深める工夫に期待します。</p>

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	基本的に座る席は自由にしており、気軽に会話できるようにしています。又、あわない人がいる場合は、職員が仲介したり、席を考慮して対応しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	利用終了後も、電話などで相談があった時には相談に応じるようにしています。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者の話を傾聴し、できるだけ本人の意向に沿いサービス提供しています。	普段の生活の中で、さりげない会話やふれあいを通じて、個々の意向を汲み取っている。時間をかけながら、出来る限り本人本位の思いに沿った支援につながるよう努めている。発語しにくい方には、ボディメッセージや家族からの聞き取りによりアセスメントに繋げ、個別ケアに活かしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	アセスメントの際、病院などから紹介の場合は情報収集し、本人からお聞きするようになっています。言いたくないことについては無理して聞くことをせず、時間をかけて情報収集しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	洗濯物たたみ等に参加してもらっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人、家族の意向は踏まえるようにしていますが、まだまだ職員に対しての意見を反映できていないので、もっと反映出来るようにと思います。</p>	<p>月一回、ミーティング時のカンファレンスで、本人・家族・関係者及びドクターの意見を加味しながら協議し、介護計画を立案している。カーブ観戦に行くという目標に向けて、積極的に歩行訓練に取り組むなど、個々のニーズに合わせたプランづくりを心がけている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>食事、入浴、排泄等の記録はできていますが、工夫した介護を行った事をまだ記録に書き漏れることがあるので、確実に記録していくようにしていきます。</p>	/	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>本人や家族のニーズに対して、出来る限り対応している。</p>	/	
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>一人ひとりの地域資源までは把握できていません。これからも継続して地域資源の把握に努めていきます。</p>	/	
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>今までかかっていた医院や、本人が望んでいる病院に受診、または必要に応じて往診してもらっています。</p>	<p>週一回の内科、隔週毎の歯科、その他皮膚科の訪問診療や週一回の訪問看護があり、利用者の健康管理を図っている。診察結果などの情報は家族と共有している。またAEDの設置及び取扱い訓練の実施など、利用者の急変時の対応がなされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>利用者の方の怪我や、状態変化があった時は看護職に相談し指示を仰いでいる。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時、施設での様子など情報提供しています。又、相談事項があれば連絡してもらい、退院が決まったら状況確認を行い、円滑に退院し、引き続いてサービスが提供できるように支援しています。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>食事が食べられなくなったり、体調が思わしくない利用者について、かかりつけ医、本人、訪問看護、家族と話し合い、終末期に対しての支援をしています。</p>	<p>ターミナルケアに関する指針があり、終末期にはその都度、家族・関係者と話し合い、個々の思いに沿ったケアにチームで取り組んでいる。重度化に伴い、医療関係者との連携やバックアップ体制を整えている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>救命救急の講習を受けてもらっています。定期的に行うようにしていきます。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>全職員には通報方法等周知できてきているが、徹底していききたいと思います。地域の方には運営推進会議の際、非常時の対応を依頼しています。</p>	<p>定期的に消防署員立ち会いのもと避難訓練を行い、様々なシチュエーションでの避難誘導についての課題を全職員で確認し、防災意識を高めている。地域協定による緊急退避施設の指定を受け、地域との協力体制を築いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	時々、子供扱いの言葉がけになる事がある。日々、職員一人ひとりが気をつけていくようにしていきたい。	トイレ誘導の際にはプライバシーを守り、小声で声掛けするなど、利用者一人ひとりの尊厳を護り、人格を尊重したケアへの意識付けに留意している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	話を聞く雰囲気作りを行い、本人の思いを汲みとり支援をしていますが、職員中心にケアが進んでしまう事も多く、本人が自己決定できるように関わってきたい。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりのペースを大事にするようにはしているが、職員側のペースになっていることも多くあり、一人ひとりのペースに合わせるように努めていきたい。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	介助が必要な方に対しては、出来る範囲で支援しています。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	食事作りも行っているため、本人が苦手なものはできるだけ外したり、食べやすい形態にして提供しています。食器洗い等は、利用者の方に手伝ってもらっています。	配達された食材で調理し、個々の食べやすい食事形態にも配慮しながら提供している。ひな祭りや敬老会などの行事食に加え、おはぎ作りなど食事を楽しむ工夫をしている。春には花見弁当を味わったり、時にはお好み焼きの出前をとることもある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている。	食材は業者(栄養士がメニュー作成)が 持ってきて、調理は職員が行っており、 一人ひとりの状況に応じた食事の提供を 行っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、 毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人 の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後、歯磨き、うがいの声かけ、介助 を行っています。義歯の洗浄消毒も行っ ています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、 一人ひとりの力や排泄のパターン、習 慣を活かして、トイレでの排泄や排泄 の自立に向けた支援を行っている。	トイレに行かれる方は、何回でも行っ てもらうようにしています。介助が必要 な方でも意思決定できる方は、本人の訴え 時、トイレ誘導を行っています。排泄表 を作成しているので、誘導が必要な方 は、漏れなく排泄介助できるようにして います。	排泄チェック表を活用し、個々のパター ンやタイミングを見計らってトイレ誘導を している。日中はリハビリパンツにパッド 対応がほとんどだが、夜間対応としてポ ータブルトイレも活用している。回廊式 の廊下を歩いたり、水を入れたペットボ トルをダニエル代わりに使用するなど、 筋力低下を防ぎ、自立に向けた支援に 取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲 食物の工夫や運動への働きかけ等、 個々に応じた予防に取り組んでいる。	認知症の方、介助が必要な方は排便 チェック表を活用し、薬等を用いて排便 コントロールをしています。水分摂取を 促し、医師との連携を図っています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わ せて入浴を楽しめるように、職員の都 合で曜日や時間帯を決めてしまわず に、個々に応じた入浴の支援をしてい る。	清潔保持の為、週3回の入浴日を決めて います。一人で入浴していただくので、 ゆっくりと入浴して頂いています。	基本、週三回の午後からの入浴で、ゆっ くりとリラックスできるよう支援して いる。柚子湯など季節感を楽しむ工夫 や心身状態に合わせてシャワー浴、手 浴、足浴で清潔を保っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>本人の様子を観察し、休みたい時に休めるように支援しています。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>服薬介助の際は名前、日にちを確認し、介助を行っています。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>楽しみごとや嗜好品の提供などの支援まで出来ていない部分もあり、一つずつでも提供できるように支援していきます。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>希望による外出は毎回はできていませんが、家族と共に外出される場合は、事前の準備など支援しています。</p>	<p>外気浴の大切さを理解し、日常的に近隣の公園への散歩や外出の機会を設けている。大学病院構内への桜見や、ハート型の葉っぱ拾いに出かけるなど、四季の自然に触れる外出を楽しんでいる。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>基本的には、施設には持参していただき、家族管理でお願いしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>本人・家族の意向により、支援しています。電話については、本人、家族の意向により可能です。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>共有の空間については、食堂から全てが見られるようになっており、利用者の方にとっては混乱が少ないように思います。温度調整は利用者の状況に応じて行っています。</p>	<p>リビングには、季節の飾りものや折り紙などの手作り作品が並べられ、落ち着いた家庭的な雰囲気である。廊下には職員のアイデアによる色鮮やかなハンドメイドのはり絵やイラストを飾ったり、フロアごとの個性を活かした雰囲気づくりに配慮している。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>日中はフロアで、気のあった利用者と一緒に過ごされています。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>利用者の方で、本人がどうしても必要なものは、お部屋に入る程度の物を持参して頂いています。</p>	<p>居室入口にはフルーツや花の名前のプレートを掛けるなど、識別しやすい工夫があり、ベッド、タンス、エアコンが備えつけられている。その人らしく落ち着いて過ごせるように、馴染みの家具やお気に入りの品々が持ち込まれ、居心地の良いスペースとなっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>トイレへの動線も近く、安全に利用できて、自立支援にもつながっています。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	✓	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	✓	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	✓	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	✓	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	✓	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	✓	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	✓	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	✓	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	✓	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	✓	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	✓	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	✓	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	✓	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームでしお

作成日 平成29年5月21日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	20	御家族や近所の方の来訪あるものの、ボランティア等の受入れが少ない。	2~3ヶ月毎に地域のボランティアの方に来訪して頂き、利用者様と地域の交流を深める。	推進会議等を利用し地域の紙芝居やコーラスグループ等の方々に活動の場として施設を使って頂ける様にする。	3カ月
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。